

# 伊是名村の経営健全化計画（船舶運航事業特別会計）の概要

## 第1 資金不足比率が経営健全化基準以上となった要因の分析

【資金不足比率】57.1%（平成20年度決算）

【要因】 人口の減少に伴う運送人員の減少（料金収入の減少）、公共工事の減少（料金収入（主に航送運賃収入）の減少）、燃料費の高騰（営業費用の増加）といった外部要因の変化に対し、長期に渡る総収益と総費用の不均衡を早期に解消しなかったことが累積赤字を増大させ、次第に資金不足比率の上昇を招いた。

## 第2 計画期間

平成21年度から平成22年度まで2年間

## 第3 経営の健全化の基本方針

- 1 補助金に依存しない自立した経営体制の構築
- 2 地方公営企業法の全部適用あるいは一部適用
- 3 運航スケジュールの検討
- 4 委託費の見直し
- 5 一般会計からの繰入の早期解消

## 第4 資金不足比率を経営健全化基準未満とするための方策

- 1 補助金に依存しない自立した経営体制の構築（観光客等の誘致、代船に係る資金の積立、リース船のリース期間満了に伴う買取）
- 2 地方公営企業法の全部適用あるいは一部適用（会計処理の移行の準備を進める。）
- 3 運航スケジュールの検討（平成22年度より1月及び2月の月曜日から木曜日を1便運航とする。）
- 4 委託費の見直し（平成22年度より仲田港事務委託契約の見直しを実施。【効果額】600千円）
- 5 一般会計からの繰入の早期解消

## 第5 各年度ごとの第4の方策に係る収入及び支出に関する計画

（単位：千円）

項 目		平成21年度	平成22年度
収益的収支	総収益 (A)	365,792	333,859
	うち料金収入	239,439	244,557
	うち他会計繰入金	27,500	33,000
	総費用 (B)	309,644	269,477
資本的収支	資本的収入 (C)		
	うち地方債		
	うち他会計補助金		
	資本的支出 (D)	108,148	
	うち建設改良費		
	うち地方債償還金		
収支再差引 (A - B + C - D) (E)		-52,000	64,382
前年度からの繰越金 (F)		108,148	
前年度繰上充用金 (G)		143,584	87,436
実質収支 (E + F - G) (H)		-87,436	-23,054

## 第6 各年度ごとの資金不足比率の見通し

（単位：％）

資金不足比率 / 年度	平成20年度 決算	平成21年度 決算	平成22年度 決算
資金不足比率	57.1	36.5	9.4

## 第7 その他経営の健全化に必要な事項

燃料油の購入、船舶修繕費（中間・定期検査）は引続き指名競争入札を実施し費用の低減を図る。  
観光大使（1名から5名へ増員）を活用して集客アップを図る。  
旅行会社等との連携により那覇空港と運天港間にシャトルバスを運行させ利便性の向上を図る。  
損益分岐点分析を経営に活用していく。  
財務情報の開示を毎年度一定の時期に行い積極的に経営の透明化を図る。